

【公募型プロポーザル】移住者をつくる移住・定住促進プロジェクト業務委託 質疑応答集

質問項目	質問内容	佐賀市からの回答
仕様書 5(2)① 移住支援サイト等の 企画・設計	ターゲット設定について、これまでの佐賀市の移住支援施策において主にターゲットとして設定している属性（UIJ ターンの別、年齢、性別等）や、既定の方針がありましたらご教示ください。	現在実施している移住支援金は、主に子育て世代をターゲットとしています。本プロジェクトについては、既定の方針は定めておりませんが、移住検討者にとって有益かつ実効性があると考えられる移住支援サイト等の企画・設計について自由にご提案ください。
仕様書 5(2)③ 移住支援サイト等の コンテンツの企画・制作	掲載する移住者インタビューについて、掲載件数の目安や下限があればご教示ください。 また、その他掲載必須のコンテンツがあればご教示ください。	掲載件数の目安や下限は設けておりませんので、掲載件数や掲載内容、その他のコンテンツについても本プロジェクトの目的の実現に有益であると考えられるものを自由にご提案ください。なお、現在佐賀市が行っている移住支援に関する情報については、掲載必須とします。
仕様書 5(2)⑤ 移住支援サイト等の 公開後の運用方法	公開後の運用について運用主体、費用などの案を示すことと記載がありますが、佐賀市では運用を行わない可能性や次年度以降は費用負担も行わない可能性も考慮した上で構築・運用方法を検討する必要がありますでしょうか。	ご認識のとおりです。公開後の運用方法も、本プロジェクトの受託者を選定する際の参考とさせていただきますので、様々な可能性を考慮したうえで、ご提案ください。
仕様書 5(3)① 移住者コミュニティの 創設及び運営支援	佐賀市で把握しており連絡（参加の呼びかけ）が可能な移住者及び移住経験者は何名程度いらっしゃいますでしょうか。また、過去に移住者・移住経験者向けイベントを実施した事例があれば、おおよその参加者数をご教示いただくことはできますでしょうか。	令和 7 年 10 月に移住者ワークショップを開催し、11 名の移住者・移住経験者にご参加いただきました。当時ご参加いただいた方に、参加の呼びかけを行うことは可能だと考えております。なお、提案にあたっては、過去の事例や参加いただいた方に限定されるものではありませんので、提案者独自のネットワークや強みを活かし、本プロジェクトの目的の実現に向けて有効と考えられる内容をご提案ください。

<p>仕様書 5(4)②          施策提案書に基づく          新たな移住施策の実施</p>	<p>新たな移住施策の実施と記載がありますが、本項目については、企画具体化、調整、運営補助といった周辺業務だけでなく、新たな施策自体の実施・運営そのものも業務内容に含んでおりますでしょうか。</p> <p>また、その場合は実施する施策の内容が WS に基づくため未定であり、提案段階では必要な工数・費用の見積が困難と思われる。一定の金額を仮置きし、その範囲内で可能な施策を実施する（必要に応じて契約段階以降に協議・調整を行う）ということでしょうか。</p>	<p>ご認識のとおりです。</p> <p>なお、ワークショップの実施においては、参加者の意見の整理・可視化にとどまらず、新たな気づきや発想を引き出す工夫を行っていただき、施策提案書の作成においては、ワークショップ結果の単純な取りまとめではなく、提案者の知見を活かし、実現性や効果を踏まえて作成いただきたいと考えています。そのうえで、市及び受託者双方の協議により実施する施策を決定していく予定です。</p>
<p>仕様書 5(5)          次年度に向けた検討</p>	<p>本項目での成果品としては、①の取組の施策提案書という理解でよろしいでしょうか。②③については作成や調整の支援、調整・整理までを担当する認識で相違ありませんでしょうか。</p>	<p>ご認識のとおりです。</p>